

# 三中だより

令和7年2月5日(木)

大田区立大森第三中学校

校長 笛木啓介

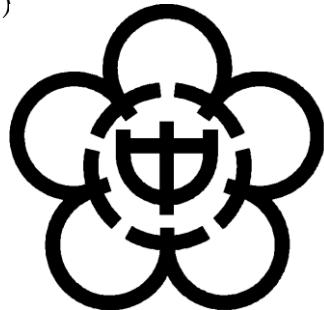
令和6年度第12号 大田区中央4-12-8

2月3日(月)は立春です。冬が終わって春が始まる、季節の分かれ目とされる日です。例年、立春を過ぎると、校庭の梅もほころび始め、いよいよ春がやってくるという気持ちになってきます。本校のホームページでも、毎年梅の開花について触っています。一昨年(2023年2月7日)の学校日誌をみると、「校庭では体育の授業の真っ最中です。立春も過ぎ、こここのところ寒気が緩み、春の訪れを感じさせます。見渡すと、南向きの校庭の梅も満開になっています。少しずつ季節の歩みが進んでいることを感じさせます。」とあります。校舎の裏手源平咲きの梅の木は、すでにつぼみも膨らみ、開花の時期が間近であることを伝えてくれています。季節は着実に一歩一歩、歩みを進めています。

梅の花は昭和51年に区の花として制定されています。花は清楚にして気品に満ち、早春の寒さにも負けず咲くその姿が、若い世代の人が多く住む大田区に特にふさわしいとの理由だそうです。区内には梅屋敷や池上梅園などの、由緒ある梅の名所がいくつもあります。また、かつては、山王にも「八景園」という梅の名所があったそうです。その「八景園」の梅の花をデザインしたのが、本校の校章です。

大森三中開校当時、校章の図案を生徒、一般から募集しました。多くの応募作品の中から一期生

が、「八景園」の梅をもとにデザインした作品が採用され、現在に至っています。大森三中の校章は「梅の花とアラビア数字の3」の組み合わせでできています。五つの花びらは大森の「大」を秘めており、外周の線は三中の「三」をアラビア数字の「3」で形象化しています。(本校ホームページより引用)



校章の、梅の花のデザインには、さまざまな思いが入っています。それは、厳しい季節の冬を乗り越えて、春の訪れを告げるよう開花するという花になぞらえ、苦労を乗り越えて手に入れる事ができる夢や、自分たちが住まう地域の先人たちへの思いです。その思いを旨として、今も生徒は、自分たちの学校生活をよりよく送り、社会に巣立っていくと懸命に取り組んでいます。大森第三中学校では、先達の思いを大切にして、冬の厳しさに負けない意思と情熱をもち、一歩一歩着実に学校生活に取り組み、自分の将来を切り開いて歩みを進める生徒を育てていきたいと考えています。

## スクールカウンセラー出勤予定日

藤田 啓子	2/4(火)、2/18(火)、2/25(火)
鳥海 真里	2/5(水)、2/12(水)、2/19(水)
田中 典子	2/3(月)、2/10(月)、2/17(月)

※大森三中 相談室直通電話  
(3773) 7831

## 2月の行事予定

28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土
第4回定期考査(給食あり)	第4回定期考査	第4回定期考査	振替休日	天皇誕生日	新入生採寸 10:00~ 13:00	都立高校学力検査(一次) 職業講話(1)	校内研修会							第6回補習教室	避難訓練(火災)	安全指導	建国記念の日	校外学習1 (兼倉行動)	新入生保護者説明会 10:00~ 11:40	社会科見学2 (都内巡り)	学校保健委員会 13:30~ 14:30	専門委員会					

## ものづくりフォーラムに参加しました

1月18日(土)、第23回ものづくり教育・学習フォーラムが大田区産業プラザ PiOで行われました。当日、区内中学校代表生徒による、ものづくり競技会技術・家庭科技能コンテストが実施され、本校からも3名の生徒が出場しました。今回出場した生徒による感想や感じたことを作文で発表します。

### ものづくりフォーラム 2年

技術の授業中、ものづくりフォーラム（木工の大会）に出たい人はいますか？と聞かれて、1年生のとき木工の授業で木工をやったときとても楽しかったので、立候補しました。

そして、大会の1ヶ月前に、「木が届いたから練習しよう」と言われて、設計図と木取り図を書いて練習用の木にけがき（印付け）をして、木を切って組み立てました。練習をしているとき、一番大変だったことは、のこぎりで纖維方向に沿って切ることでした。そして大会のとき木を切り終わられるかがちょっと心配になりました。

初めて大会の会場に行ったとき、ちょっと緊張しました。大会中に審査員の人や、色々な学校の技術の先生が会場を回っていて、ヤスリのかけ方、表面の磨き方、作業がしやすくなる固定の仕方などを教えてくれて、今回のものづくりフォーラムで技術の技能が上がった気がします。

### ものづくりフォーラムに参加して 2年

今回初めてものづくりフォーラムに参加してみて、とても楽しかったし、勉強になりました。他校が作品を作っているところや工具を使っている様子を見て、どのように工夫して工具を使えばいいか、効率の良い使い方を学ぶことができました。また、ものづくりの楽しさを知ることができました。大会当日までの木工室での練習で、木を切る作業の楽しさ、釘を打つ楽しさなどを感じることができました。昼休憩の時間には、他校の家庭科や、技術、図工の作品を見て他の学校はどのようなものを授業で作っているのか、「その作品、三中でも作ってみたい」というような作品を見ることができました。作品完成後、他校が作り終えた作品を見ていると、どれも日常生活に役立ちそうなものを作っていて「自分もあんな作品、思いついいたらなー」と思う作品もたくさんありました。このような経験を今後の授業や職業に活かしていくといきたいと思います。



## ものづくりフォーラムの良さ

### 2年

僕が今回ものづくりフォーラムに参加して、このような大会を開催するのはとてもいいことだと思いました。僕も小さい頃から何かものを作るのが大好きでしたが、それも学校の授業や校内での展示、あって区展に出るくらいのもので、あまり多くの人に自分のアイデアを発表する機会はありませんでした。けれども、今回のものづくりフォーラムでは、競技会形式で思う存分、自分の思うままに作品を作れて、とても楽しかったし、自分の発想力で賞まで取れたりできるとわかって、自分の可能性に気づくことができました。

会場で他校の生徒の人たちが作業しているのも横目で見ていましたが、やはりみんなとてもユーモア溢れる発想で非常に生き生きとして作業しており、このフォーラムのように自由にものづくりができる場所があるのはとても素晴らしいことだと思いました。これからもみんなの素晴らしいアイデアを発表できる機会が増えていくといいなと思います。



## ～展示作品出品者をご紹介します～

展示部門には、次の生徒の作品が出品されました。素晴らしい作品をありがとうございます。

### 《技術科》

1年 木工自由設計作品

1年 木工自由設計作品

### 《家庭科》

2年 ファスナーポーチ

2年 ファスナーポーチ

3年 幼児のおもちゃ

3年 幼児のおもちゃ



また、2月1日(土)～6日(木)までは、池上会館で、大田区立中学校技術・家庭科作品展も実施され、本校から多数の生徒作品が出展されています。



12月には、防災訓練や連合運動会などの地域行事があり、三ボランティアとして参加して、運営などのお手伝いをしていました。



運動会では、生徒はみんな全力で取り組み、大きく成長しました。

